



発行所
日本聖公会 東北教区
仙台市青葉区国分町2-13-15
TEL 022-223-2349
FAX 022-223-2387
URL <http://nssk-tohoku.com/>

シリーズ「東北の信徒への手紙」 ウエルカム・ミニストリー

主教 ヨハネ 加藤 博道

かつて英国のある主教座聖堂の礼拝に参加した時、ちょうどその日に「ウエルカム・ミニストリー」を担う信徒の人たちの祝福式（礼拝とパティ）があり、大変印象的に思いました。日本の現状に一番近い働きでいえば「アッシャー」というところですが、ただもう少し活動の範囲は広いものでした。海外の教会、とくに大聖堂に行かれた方は、何か目立つしるし（腕章等）をつけて、観光客のガイドをしている親切な、そして大体は年配の男女を見られたことがあると思います。あの方たちのことと思つてよいと思います。まさに「教会にようこそ」という役割です。もちろんボランティアです。「教会を開く」ということが、今東北教区の大事なテーマになっていますが、私は例えばですが、教会の扉を、と

もかく毎日開けておく、誰でも入れるようにしておくことだけが「開かれた教会」ではないと感じています。逝去された野村潔司祭がかつてカナダに留学され、その帰国の報



告を伺ったことがあります。カナダで、もし教会の扉を常時開けていたら、礼拝堂はたちまちホームレスの人たちの住居になると言われています。そして教会も扉を開けているのであれば、それを前提

に、教会に社会福祉士のような人を配置して前向きに対応していると（すべての教会ではないでしょう）。いきなり、私たちもそうすべきだと言う積りはありません。しかし私見では、毎日ただ扉を開けておくよりも、例えば「火曜・木曜・土曜は午前10時から午後4時まで教会の玄関は開いています。そして信徒のボランティアがお待ちしています」と言えた方が、余程よくはないかと思うのです。もちろん誰もいない礼拝堂で一人折りたい方もあるでしょう。扉が開いていることが無意味だとは決して申しません。しかし扉は開いているけど誰もいません、「今日は牧師がいないので、何もお話は出来ませんが、聞けません」というのはあまり「開いている」感じはしないのです。週に一度でも、交代で信徒のボランティアが教会の中に居られたら。人が来ない時は何か教会の事務（誕生日カードや逝去記念カードの宛名書きとか）をされたらよいのではないか（すでにそうされている

教会もあるでしょう）。ここまで話をしたら「いや、それは信徒には無理です」と言われたことがあります。牧師がいないと駄目だというわけです。確かに専門的なカウンセリングのような対応は誰でも出来るわけではないでしょう。しかし専門的な話ではなく、この教会はこういう所ですよ、わたしもこんな感じで教会に來ているんですよ、と普通の会話でいいと思います。それ以上の特別な悩み、課題があれば、それこそ牧師はいついついますからその時に、と訪問予約をしてもいいのではないのでしょうか。こういうことが出来る教会と、もはや人数的にもとても無理だという教会とがあるだろうことは承知しています。私の申し上げたいことは「教会が開いている」ということの一つの側面として、物理的な扉だけではなく、信徒の方たちが教会について、自分の信仰について、もう少し積極的に語る、ということもあるのではないか、ということです。

（磯山聖ヨハネ教会牧師）

テジョン教区との協議報告 協働グループリーダー 司祭 アントニオ 影山 博美

9月24日(火)～26日(木)、李贊熙司祭とテジョン教区を訪問して参りました。この11月27日で第4期目が切れる友好関係を更に延長して第5期目を迎えるにあたって、愈楽(ユルラク)主教、国際交流委員の方々とお会いして来期に向けての両教区の思いを確認するためでした。急な訪問でしたが、各位が時間を調整して協議に来てくださったことに感謝でした。協議は25日に行いました。当日出張予定が入っていた愈主教が、出発前の忙しい時間を割いて宿舎にお訪ねくださり、朝食を共にしながら短い時間でしたが話を致しました。

次いで主教座教会に場所を移して、午前11時から国際交流委員の方々と話し合いを致しました。協働グループでは今年終了する第4期に引き続き、友好関係の継続を昨年

の時点から常置委員会に報告をし、昨年(2018)教区会にも報告しております。今年に入って協働グループ会議で友好関係延長について話し合い、来期のコンセプトについて話し合ってきました。また、5月に原発国際協議会に参加して仙台へ来られた愈主教から吉田主教へ延長の申し出があったこともあり、延長について内容的な事項を含め確認の話し合いをしようと考え、大田教区を直接お訪ねした次第です。

私たちが伝えた東北教区の第5期目を迎えるにあたってのコンセプトは「学び」です。愈主教も国際交流委員会も私どもの提案を受け入れたいということでした。国際交流委員会からはテジョン教区が力を入れて「日曜学校」についてこちら側の提案している「日曜学校の学び」で何かできればとの思いも聞きました。

今、日韓関係の改善が強く望まれる状況だからこそ、交流にも意味があるものと信じています。「私たちの交わりは主にある交わり」であることを実践して参りたいと思います。

東日本大震災被災者支援 プロジェクト(10月の報告)

〔新地町広畑お茶会〕

25日に開催。地域からの参加者10名、仙台等からスタッフ9名。バザーを開催、お買い物を楽しんでいただきました。

〔水曜喫茶〕

2日に開催。地域から7名、スタッフ3名。次の23日は新地町断水の影響で中止に。

〔お買い物支援〕

毎週木曜日午前中に定期的に継続・開催。毎回平均4～5名の参加。

〔台風の影響〕

新地町自体は、隣接地である丸森、角田に較べて直接の被害は少なかったのですが、約1週間の断水となりました。限られた量でしたが、地域の民生委員と相談の上、原発避難者の方々を中心に水を配布いたしました。

〔その他〕

11月16日開催の「被災地巡りツアー第6回」―南相馬から小高・浪江・富岡方面へ―の準備と参加呼びかけを行っています。

常置委員会報告 10/21 開催 緊急協議

教区事務所主事同席のもと、台風19号における教区内教会の被災状況確認、被災地のボランティア受入等について協議。

1. 2020年度教区一般会計収支予算案について
2. 2020年度教区一般会計予算案の主旨についての説明を受け、常置委員会としてこれを承認。

2. 第102(定期) 教区会 関連事項

常置委員会提出議案及び常置委員会関連議案について確認と見直し。殊に諸規程の相互の整合性について確認。教区業務組織及び業務分掌規程の見直しについては、来年度教区会に申し送るとした前回の決議を見直し、第102(定期) 教区会に議案を上程することを確認、議案検討。

3. 「原発のない世界を求め国際協議会」声明の提言を具体的に実施していくことについて
- 管区作成の議案(案)について検討、基本的に賛同し教区

常置委員会報告 11/12 開催 会議案とすることを確認。

協議事項

1. 白河基督聖公会について
- 11月11日付で、教区と合併するための合併認証申請書承認されたことを確認。
2. 2019年の教区内各教会のクリスマス礼拝について
3. 第102(定期) 教区会について

常置委員会への質問に対する回答について協議。主教座聖堂信徒参事候補者及び会計検査委員候補者の選任。管区作成の議案について検討、基本的に賛同し教区協議案とすることを確認。

4. 次期教区会期常置委員会への申し送り事項について
- 表記について確認。

好評発売中

聖公会手帳 2020年版

☆各教区の全面的協力のもとに――
日本聖公会管区事務所が責任編集！

大型判 2,200円(税込)
ポケット判 1,200円(税込)

お申込みは、聖公書店 04-2900-2771
またはお近くの書店まで

堅信を受けて

「みちびかれて」

仙台聖フランシス教会

クララ 齋藤 昌子

2019年10月6日フランシス祭に、吉田主教、李司祭、教父母の大浪ご夫妻のもと、教名クララ齋藤昌子として堅信式を受けることができました。たことを感謝いたします。

夫の転勤で39年前東京から、仙台に引っ越し、終の棲家として今の住居に移って20年になります。

今年夫が教籍を東京から仙台に移そうと教会を探しておりましたところ、近くに聖フランシス教会が在ることがわかりました。初めて聖フランシス教会の扉を開けた時、目に飛び込んできたのは「小鳥へ説教する聖フランシス」の絵と傍らに置かれた聖フランシスの像でした。聖フランシスの像はまさしく私に通っていた東京の幼稚園（小さき花の幼稚園）の神父様の姿でした。カナダ人の神父様は厚手の茶

色の修道服に縄状の腰紐、とても丈夫そうな靴を履き、いつも微笑んでおられました。この幼稚園の懐かしい記憶が突然蘇った時の感覚は言葉にできませんでした。

堅信式を受けるにあたり、私たちは三つの偶然が重なっているのを感じました。一つ目は幼稚園が聖フランシス修道会の幼稚園だったこと、二つ目は夫が聖公会の信者ということ、三つ目は家の近くに聖フランシス教会が在ったこと。これら三つの偶然は単なる偶然では無く、イエス様のお導きであったのではないかと思われてなりません。夫と共に聖公会の家族に迎えて下さったことに心から感謝いたします。



右から二人目が齋藤昌子さん



青森聖アンデレ教会

紹介されて訪ねてきた女性。実は英語を教えるとなりの教会だったというがっかり感。現代は何かプラスがないと動かない？

信徒の赤ちゃんが礼拝に来て可愛い声が聞こえた時、皆が笑顔になり大きな力が与えられたように思いました。聖公会の教会の礼拝を見たかったという方も、何回か礼拝に連なりました。

他の教会よりも目立った催し物はありませんが、皆が家族のように寄り添い、穏やかな信仰生活の日々です。

盛岡聖公会

10月10日、雲一つない青空が広がる中で、東北教区吉田雅人主教様の司式により盛岡聖公会牧師館並びに仁王幼稚園園舎改築工事の起工式がおこなわれました。

長い間の夢であった、この大事業。困難な課題が一つづつ

解決されてこの日を迎えることができました。式の終わりには、園児たちの歌う聖歌が響き、一同大きな喜びに満たされました。完成は2月末の予定です。

大館聖パウロ教会

猛暑だった夏、また災害も多く特別な年でした。私たちの姉妹教会の東京聖マールゲレット教会より大勢来訪、吉田主教様の巡回と重なり、和やかで楽しい交流は大きなお恵みでした。一人ひとりの笑顔が印象に残っております。

最近教会で誕生日を迎えた方に「おめでとうハグ」をするのが恒例となり、集会所が賑やかです。高齢化に直面していますが、祈りと笑いのある教会でいたいと思っております。

仙台聖フランシス教会

私たちの教会では毎年10月の第1日曜日、教会の名前をいただいたアジジの聖フランシスを記念し、聖フランシス祭として礼拝を捧げてきました。今年は10月6日に行われ、私たちの教会にとってうれしいことがありました。今年か

ら3人の新しい信徒さんが教会の仲間になりましたが、このうちまだ堅信を受けていなかったクララ齋藤昌子さんの堅信式がありました。また、10月19日は教会と幼稚園の母の会主催のバザーがありました。あいにくの雨でしたが、皆が力を合わせて良いバザーになりました。

新庄聖マルコ教会

10月13日、第56回「マルコ秋まつりバザー」が開催されました。婦人会の皆さんが作る恒例のドーナツは、2時間ほどで売り切れてしまいました。伝統の昔懐かしいその形や味を求めて買ってくださる地域の方や卒園生、本当に感謝です。「つながりの輪」は今年も健在でした。

この度の台風等により被災され、困難の中にある方々を覚えて、信徒一同、お祈り致します。

郡山聖ペテロ聖パウロ教会

10月20日、今年最後の草刈りを行いました。敷地が結構広いことから、毎回かなりの作業となっています。それが今年はいれしいこと

がありました。教会の隣のマンションの住人の方々(4名)が手伝ってくれたのです。以前に善意で建物周辺一部を草刈りしていただいていたことから、今回はこちらから声掛けして実現しました。このようなかたちで教会が地域に開かれていくと良いと思います。

洗礼おめでとう

テレサ 富士 美咲
ルデア 高橋 櫻子
(10月10日・仙台)

初詣おめでとう

テレサ 富士 美咲
(10月10日・仙台)

聖婚式おめでとう

サムエル 富士 太郎
テレサ 鈴木 美咲
(11月4日・仙台)

12月逝去者記念聖餐式

12月3日(火)午前10時

於 主教座聖堂
司式 吉田 雅人 主教
加藤 博道 主教
説教 加藤 博道 主教

宣教師 Miss Ethel H. Correl
1920年12月5日逝去

伝道師 ヨハネ 土田 八九十
1924年12月8日逝去

司祭 ヤコブ 木村 光二
1979年12月9日逝去

宣教師 Miss Anna Theodora Wall
1917年12月12日逝去

司祭 John Cary Ambler
1946年12月13日逝去

主教 テモテ 中村 信蔵
1969年12月16日逝去

司祭 Frank Hazellet Jr. Moss
1963年12月19日逝去

司祭 近重 利澄
1934年12月22日逝去

司祭 コルネリオ 斎藤 雄一
2017年12月22日逝去

司祭 片田 篤五郎
1956年12月24日逝去

主教 ウイリアム 村上 達夫
2016年12月28日逝去

司祭 ステパノ 大矢 敬香
1942年12月30日逝去

司祭 ステパノ 奥村 亮
1948年12月31日逝去

司祭 ヨハネ 桜井 健
1979年12月31日逝去

